



皆さんにお祝いされ、賑やかな誕生会ができました。満面の笑みで「こんなに盛大にやってもらって、ありがとうございます」と御礼の言葉を伝えておりました。いつもより豪華なあんみつを食べ、  
「まだまだ頑張るぞー」と力強く話しておられました。

# グループホームかつら便り

発行  
平成29年11月1日  
発行担当  
藤原恭子

## ～訪問診療～



当ホームでは、月二回、医療法人小野崎医院の訪問診療にて、ご利用者さんの日頃の健康管理と医療対応を行っています。その為、容態の悪化の予防や、施設に居ながらの長期療養が可能になります。事前に状態の報告をします。毎回、管理薬剤師の同行もあり、先生と薬剤師、職員の連携が図られ、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を受けることが可能です。先生は「ご飯、美味しく食べてるが?」「調子悪い所ない?」など、本人に優しく声をかけられます。住み慣れた所で、治療を受けながら生活を続けることに大きな魅力があるのではないかと思います。



紅葉が真っ盛りの小安峡・・・  
きも〜ち、早いような気がしましたが、  
「きれいだな〜」と大変喜んでくれました

お食事後の後片付けは利用者さんと一緒に  
行っています。皆さん快く引き受けて  
下さいます。難儀かけます!

お昼ご飯を食べ終えると、お部屋で休む  
方、ホールでうたた寝する方に分かれま  
す・・・気持ち良さそうなお二人(微笑)



9月28日、今注目されている介護技術「ユマニチュード」について施設内研修を行いました。介護される人と介護する人、両者がお互い気持ちよく、人間らしく存在するためには相手に確実に伝えるための「技術」が鍵になるのだそうです。技術の基本は「見る」「話す」「触れる」「立つ」が基本になります。「あなたは大切な存在である」ことを伝え続けると良好なコミュニケーションが取れるようになり関係性を確立することが出来ます。日々の認知症ケアに実践できるように、会を重ねて勉強していきたいと思っています。

10月24日、「防災特別研修会」に参加しました。7月22日〜23日、記録的な大雨に見舞われ県南の広い範囲で避難指示や避難勧告が出されました。実際、避難場所で一夜を過ごした体験発表や80名という大人数での避難した体験発表など、聴いていると、刻々と迫ってくる水の恐ろしさが伝わり、身に詰まる思いでした。今回、このような体験発表を聴き、ご利用者さんの命を預かる者として、これまで以上に危機意識を待って適切な備えが必要であることを強く感じました。

